

令和6年度 自己評価及び学校関係者評価書

札幌市立苗穂小学校

1 本年度の重点目標

「かがやく目（知）」「あふれる笑顔（徳）」「ひかる汗（体）」

2 本年度の経営方針

- ・一人ひとりに「生きる力」を確実に身につけさせる実践を展開する
- ・全教職員が子どものために協働する学校を創造する。

3 自己評価及び自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
学ぶ力・かがやく目	① 課題を自分事と捉える、主体的に学ぶ 疑問や課題を解決するために、自ら進んで学ぼうとしていたか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ●なえぼっこ学力アップテスト(目標やめあてに向かって自主的に準備を進める)やなえぼっこゼミナール(習熟度別少人数指導)の実施 ●自己決定・自己選択できる学習過程の工夫をした授業づくり(次年度研究重点より) 	A	A
	② 考えをもつ、考えを伝える 進んで自分の考えをノートに書いたり発表しようとしていたりしていたか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ●気付いたことを伝え合える関係づくり(学校経営方針より) ●「見方・考え方」を働かせる教材化の工夫をした授業づくり(次年度研究重点より) 	A	A
	③ 友達の考えをしっかりと聞き、学んだことを生かす 友達の考えを聞いたり、活用したりして自分の考えをよりよくしようとしていたか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ●仲間との対話で思考を深める過程の工夫をした授業づくり(次年度研究重点より) 	A	A
学校関係者 評価委員からの 御意見	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達が生き生きと発表して、自分の考えを話す様子は素晴らしい。 ・自分または仲間の興味のあることや得意なことを探求し発表できる機会があるとよい。 ・6年生を送る会で担任教師の指導力が発揮されていた。児童の情緒安定は学習と関連しているので教師のテクニックを存分にふるってほしい。 ・中学校の英語学習と小学校の外国語学習にギャップを感じている。スムーズな移行を期待する。 				

豊かな心・あふれる笑顔	④ あったかハートの合言葉、あいさつ運動など あったかハートの取組を通して、あいさつや正しい言葉遣いなどの基本的な生活習慣を身に付けていたか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ●パートナー校と連携した、委員会活動等によるさっぽろっ子自治的な活動(さっぽろっ子宣言「プラスのまほう」)の推進 ●あいさつ運動やあったかハートレター、ふわふわ苗穂っ子ポスター等、「あったかハート」活動の継続から子どもにとっての習慣へ(「さっぽろっ子自治的な活動取組報告書」参照) 	A	A
	⑤ 出発の会、たてわり遊び、運動会や遠足でのブロック交流 異学年交流の取組を通して、思いやりの心や憧れの気持ちを育てていたか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ●運動会の内容の継続・精査・吟味(ブロック表現活動等) ●「出発の会」「ふれあい遠足」「苗穂っ子まつり」等、異年齢交流の継続で「人と関わりたい」気持ちづくりを目的としたたてわり活動の機会の創出(学校経営方針より) 	A	A

	⑥ 道徳の授業、朝読書、係活動など 道徳の授業を要とした教育活動全体を通して、きまりやルールを守ったり、自分や他者を大切にしたりする心を育てていたか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ●参観授業での道徳授業の公開等や学年合同、交換授業等の工夫 ●朝の読み聞かせ活動を含めた朝読書の推進を継続していく 	A	A
	学校関係者 評価委員からの 御意見	<ul style="list-style-type: none"> ・人に対する思いやりの心や自己有用感は、日々の生活の中で育まれると思うので今後も引き続きの指導を期待している ・たてわり活動の継続を強く希望する。苗穂小は主に4校の市立中に分散進学するため、少数派。たてわりの関係は中学校でも生きてくる。 ・朝読書の継続は素晴らしい。話す力や理解力、言葉遣いの丁寧さの向上が見込まれる。挨拶は、大人（教職員・保護者）が良いお手本になっていただきたい。 			

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
健 や か な 体 ・ ひ か る 汗	⑦ 体育の授業、運動会の取組、新体力テストの取組など 体育授業等を通して、運動に親しんだり、自ら進んで体を動かそうとしたりしていたか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ●参観授業での体育授業の公開等や学年合同、交換授業等の工夫 ●運動会の内容の継続・精査・吟味（ブロック表現活動等） 	A	A
	⑧ グラウンド遊び、学年・学級による全員遊び、なわとびなど 休み時間の活動を通して、運動に親しんだり、自ら進んで体を動かそうとしたりしていたか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ●「なわとびマイベスト」等、実施時期が他の取組と重ならないように配慮したり、「ランニングチャレンジ」の時期を配慮（暑い夏を避けるなど）したりと実施方法を工夫する。 ●日課の工夫による昼休みの時間の確保 	A	A
	⑨ 食指導や保健指導、交通安全教室など 基本的な生活習慣を身に付け、健康や安全への意識を高めている。	A	<ul style="list-style-type: none"> ●健康づくりの取組の継続からよりよい生活習慣・幸福感を（学校経営方針より）～栄養教諭の活用 ●交通安全教室等の出前教室や避難訓練等、系統的な安全教育の実施（学校安全計画） 	A	A
	学校関係者 評価委員からの 御意見	<ul style="list-style-type: none"> ・正しい生活習慣は体づくりで最も必要。人間形成で最も基本となる小学校・苗穂小学校の取組は素晴らしい。 ・運動会の種目について得意な子、苦手な子、どちらに配慮しつつも、時流に流されず企画されることを期待する。 ・冬期間の運動は更に進めたいところ。 ・各取組に対し、子どもたちが目標をもち、楽しく体を動かしているのが素晴らしい。 ・交通安全だけでなく、防災・防犯を含め、「自分で自分の命を守る」という意識を高める活動を継続してほしい。 			